

## 「教育実践紀要」の創刊にあたって

沖縄県立看護大学  
学長 前田 和子

本学は平成 11 年 4 月に開学して間もなく紀要編集委員会を発足させ、教員の研究活動の活性化と質向上を目的に「沖縄県看護大学紀要」第 1 号を平成 12 年 1 月に発刊し、現在、第 15 号を数えるに至っています。この間、平成 16 年度には保健看護学研究科博士前期課程及び後期課程が開設され、教員だけでなく、院生や修了生の投稿も増加しつつあります。今日まで、当該紀要は学内外の教員による厳しい査読を経て、掲載論文の質を担保するよう努力してきているところです。

今回、第 2 の紀要ともいえる「教育実践紀要」を新しく発刊することになりました。創刊のきっかけは本学の学長アドバイザーとして、また外部評価委員長として、平成 18 年度より本学の運営、教育、研究、社会貢献等の活動について温くも厳しい数々の指導をいただいている森正夫先生（公立大学協会相談役、元愛知県立大学学長）の助言によるものでした。「文系の研究など、今の紀要の投稿規定に合わない論文もあるだろうし、なにより若手教員が第 1 著者としてもっと自由に論文を書き、発表できるように、その機会として新しい学内誌をつくるべきではないか」と。

早速、研究研修委員会と紀要専門部会で検討を重ねて、今回創刊の運びとなりました。その過程で本誌発刊の目的を次のように決めました。

- ①本学において日常的に実施している教員個人またはグループでの教育改善の試みを記録に残し、共有し、本学の教育の質改善に役立てること
- ②若手教員に論文発表の機会を提供し、指導的査読により、彼らの研究活動の活性化を促し、研究能力向上をめざすこと

このような経緯をへて誕生した新しい紀要を、本学の教員たち、特に若手教員や院生・修了生の皆さんが大いに活かし、自らの教育研究する力を磨き、実践活動と研究と教育を有機的に結びつけ、学生によりよい教育がなされることを願っています。

また、学外の読者の方々にも関心を寄せていただき、本誌に対して建設的なご意見をいただければ幸いです。

平成 26 年 1 月